

ものづくり現場での生産技術力向上をめざす

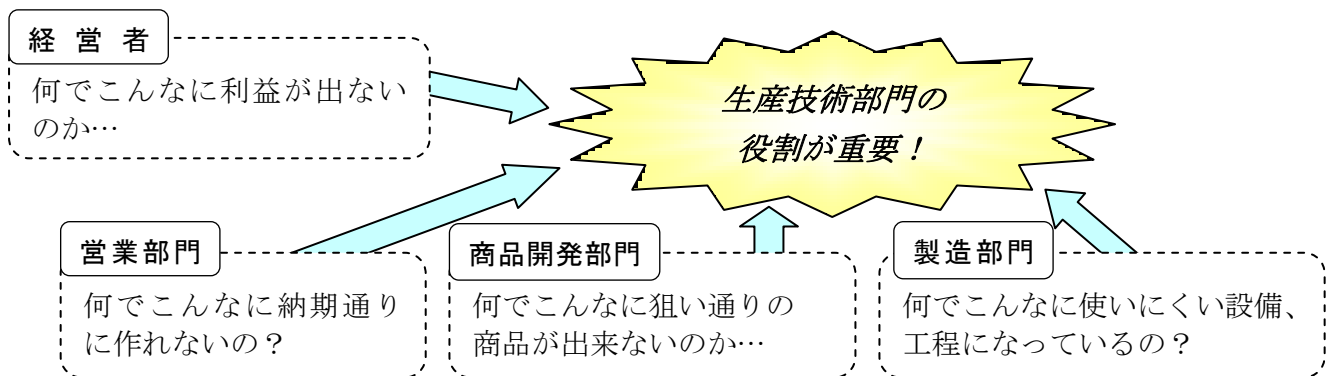
テクニカル・エンジニア育成塾

検索

《事業の概要》

ものづくり産業が持続的に発展し、国際競争に打ち勝っていくためには、製品開発力に加え、開発設計されたものをいかに安全かつスピーディーに高品質、低価格、そして安定的に作るかといった「生産技術」力を高めていくことが求められます。

この塾では、企業の生産技術力の強化と設計部門（技術者）と製造部門（技能者）の調整役となる生産技術部門を担うテクニカル・エンジニアの育成を図ります。



■開催日 平成24年8月1日（水）、8月2日（木）の2日間

■場所 ボルファートとやま（富山市奥田新町8-1）

■対象者 企業の生産技術部門・製造部門の管理監督者・担当者等（定員15名）

■内容 ※詳細は裏面にあります。

- (1) 講義・演習 講師：パナソニック エソリューションズ 創研(株) 技術製造研修センター 次長 田中 豊 氏
 - ・講義（QCDS レベル向上の考え方、デザインレビューの重要性と効果など）
 - ・個別演習（生産技術力向上のための生産工程の改善と評価）
- (2) 講 話 講師：(株)不二越 工具事業部 生産技術部 部長 江藤 寿晃 氏
 - ・(株)不二越における生産技術部門とデザインレビューの取り組み事例の紹介
- (3) 交 流 会
 - ・講師や参加者相互による情報交換、ネットワークの形成

■参加料 8,000円（テキスト代、昼食代、交流会費）

■申込締切 平成24年7月19日（木）

受講者
の声

- ・品質、コスト、納期、安全の具体的改善手法の理解が深まった。
- ・個別演習により、自社の問題点等を認識できた。
- ・大変分かりやすく、会社に戻って早速実践したい。

■詳細内容

テクニカル・エンジニア^{※1}を育成するため、講義や演習を通じて、完成度の高いものづくりのためのデザインレビュー^{※2}（DR：設計審査）の重要性と効果、QCDS（品質、コスト、納期、安全）の向上策、企業における活用方法等を指導します。

また、講話を通じて、県内先進企業におけるデザインレビューの取り組みを紹介します。

(1) 講義

①テクニカル・エンジニア総論

- ・企業を取り巻く社会、環境の変化とものづくりにおける各部門の役割
- ・ものづくり企業における生産技術の考え方

②テクニカル・エンジニア各論

- ・ものづくり現場のQCDSレベルを上げる考え方とそのポイント
- ・デザインレビューの基本ステップとそのポイント
- ・工程設計や設備導入の基本ステップとそのポイント

(2) 講話（事例紹介）

「生産技術部門におけるデザインレビュー（DR）の活用」

(3) 個別演習

「QCDSを向上させるために」

デザインレビューの実践に向けて、自社の製造工程や製造品を設計段階から見直し、製造設備やレイアウト等の具体的な改善策を検討し、その効果を発表しあう。

(4) 交流会

講師や参加者相互による情報交換、ネットワークの形成

※1 テクニカル・エンジニアとは

企業の設計部門（技術者）と製造部門（技能者）の調整役となる生産技術部門を担う人です。

設計部門からの設計図を製品化するために生産システムを構築し、製造部門がスムーズに生産できるように技術面のサポートをします。このため、製品知識に加え、設計から製造までのものづくりに関する幅広い知識や経験が求められます。

※2 デザインレビュー（DR）とは

設計部門の設計案に対し、製造に着手する前に、生産技術部門、製造部門、営業部門等がそれぞれのノウハウや情報をもとに、顧客ニーズに応える「売れる商品づくり」を目指して、様々な角度から設計書を評価・審査する場です。

■タイムスケジュール

1日目：8月1日（木）		2日目：8月2日（金）	
時間	内容	時間	内容
9:00	開講式	9:00	個別演習とアドバイス
9:15	講義① テクニカル・エンジニア総論		
12:00	<休憩>	12:00	<休憩>
13:00	講義② テクニカル・エンジニア各論	13:00	発表（質疑応答、講評）
16:00	講話（事例紹介）	15:30	まとめ
17:30	～生産技術部門におけるデザインレビュー（DR）の活用～	16:00	閉講式
19:00	交流会	16:30	

申し込み・問い合わせ先 富山県商工労働部職業能力開発課 内山、西野

TEL：076-444-3259 FAX：076-444-4406